

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。



《沖繩協同病院医師研修理念》

- 基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。



院内駐車場のご利用について

院内駐車場の利用について多くのお問い合わせがありましたので、改めてお知らせ致します。
 駐車スペースに限りがあります。外来受診の方優先の駐車にご協力をお願い致します。

2019国民平和大行進のコース

日	日付	出発地 (9:00 出発式)	お屋	到着地 (16:40 集結式)
1 日目	6/16 (日)	名護市 二見トンネル (杉田トンネル口)	久志公民館	松田小学校前
2 日目	6/17 (月)	キャンプハンセン 第2ゲート前	伊芸公民館	宮森小学校前
3 日目	6/18 (火)	うるま市役所 石川庁舎 (旧石川市役所 運動公園)	地域交流センター (野外ステージ)	中部協同病院
4 日目	6/19 (水)	コザミュージックタウン前	宜野湾市役所	嘉数高台公園
5 日目	6/20 (木)	比屋良川公園	西原中央公民館	黄金森公園
6 日目	6/21 (金)	平和祈念公園多目的広場	琉球ガラス村	西崎運動公園
7 日目	6/22 (土)	豊見城市役所	漫湖公園	県民広場 (15:00 集結式)

1、駐車料金

- 外来患者様……………無料
※駐車券を外来会計窓口にご提示ください(無料パ
ンチ致します)
- 一般外来者(面接者も含まれる)
- | | |
|--------------|------|
| 30分以内…………… | 無料 |
| 30分～60分以内 …… | 100円 |
| 30分増す毎に………… | 100円 |
- ※当院の巡回バスもあります。
路線コースと時刻表を受付に用意してあります、
ご確認の上、ご利用下さい

2、定期券(パス)について

- 面会の回数が多い方は定期券の購入をお勧めします。(1日何回でも出入り可)
- 定期券 (1日あたり 100円 税込)
- | | |
|------------|-------|
| 10日券 | 1200円 |
| 20日券 | 2200円 |
- ※使用済みカードを外来会計に提示してください
200円の返金があります
- ※残日数分は返金致します
- 定期券発券までの手順
- ①定期券申込書記入(看護師詰所・中央受付)→
 - ②中央会計で支払い→
 - ③パス券、領収書発行

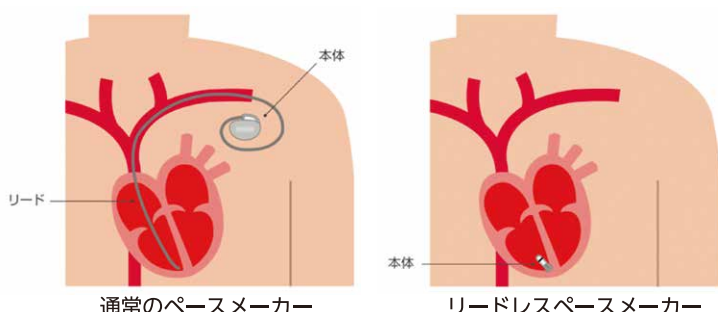
3、無料扱いする場合

- 入院・退院当日 ■手術から3日間 ■ICU治療中
 ■乳幼児入院 患児の家族(常時付き添いが必要)
 ■医師から付き添い指示・許可がある家族
 ■病状説明のある家族
 ※対象となる方は「駐車場許可証」を発行しています。
 病棟の看護師にお申し出下さい

病院の活動状況 <2019年4月度>

- ・外来一日平均患者数:309人(前年同月比 -149人)
- ・入院一日平均患者数:306人(前年同月比 +5人)
- ・組合員利用率:50.3%(前年同月比 -7%)

「リードスペースメーカー」について



皆さまこんにちは。循環器内科の澤紙（たくし）です。

今回は「リードレスペースメーカー」についてお話しします。

まず通常の「ペースメーカー」についてですが、医療界の中では、「ペースメーカー」とは、心臓に対して電気刺激を与え鼓動を促す医療機器とされています。なんらかの病気（洞不全症候群、高度房室ブロック、徐脈性心房細動など）により心臓の中の刺激伝導路に不具合が生じ、心拍数が遅くなる際（一般的には一分間に四十回以下）に使用される医療機器です。

この「ペースメーカー」ですが、通常は「本体」と「リード」から構成されています。「本体」は皮下に植え込まれる小さな機器で、「リード」は本体と心臓を結ぶ細い導線です。一九五八年に初めて体内植え込みされて以来、「本体」は徐々に小型化されてきました。しかし人類の寿命が伸びるにつれ、体にとつては異物である本体やリードの感染、あるいはリードの断線などが問題となるようになってきました。

そこで今回の「リードレスペースメーカー」が開発されました。文字通り「リード」がなく、本体サイズもこれまでのほぼ十分の一と小型化し、この「ペースメーカー本体」が直接右心室の中へ留置されます。異物量が少ないことから長期的な感染リスクが低くなり、またリード断線の心配のないことから留置後の運動制限がほとんどありません。入院期間も短くてすみます。

二〇一七年から日本でも使用可能となり、二〇一八年末から当院でも使用可能となりました。

ているわけではなく、「徐脈性心房細動」が主な適応疾患となっていないまでも、限定的な使用ではあります。しかし医療技術の発展は目覚ましいもので、将来はすべてのペースング機器が「リードレス」になると予想されています。詳しくはお話では循環器内科の外来で対応いたしますので、いつでもスタッフへお尋ねください（リードレスペースメーカーの実物大模型も手にとつて触れることができます）。



画・内科医 上原 和博



<ご意見・ご要望>

こくら虹薬局の出入口の金あみをはずした方がよいと思います。

病院間の屋根がせつ々あるのに、あみがあるため一度道路側に出ないといけない。雨の日はわざわざ濡れに行っているみたい。

<お返事>

貴重なご意見ありがとうございます。

当院を外来受診された患者さんの多くが、隣接する「こくら虹薬局」をご利用されています。

ご指摘のように、金あみ(仕切り)を取り払う事で、薬局までのアクセスが良くなりますが、現在の法律(保険医療機関及び保険医療養担当規則)の中で特定の保険薬局への誘導の禁止が謳われており、病院敷地内から直接薬局へつながる経路については、禁止されています。ご理解のほどよろしくお願いします。

皆さんに気持ちよく病院を利用して頂けるよう努力して参りますので、今後も何かお気づきの点がありましたら、ご意見ご要望をお寄せ下さい。

事務次長 宮國 迅

産婦人科科外来体制表

○2019年6月1日から外来体制が変更になります。

	月	火	水	木	金	土
午前	伊良皆肇	畑 春香	嘉陽真美	與那嶺尚絵	大村更紗	町田美穂
午後	嘉陽真美	大村更紗	畑 春香	伊良皆肇	與那嶺尚絵	
午後	助産師外来	助産師外来	一ヶ月健診 (町田美穂)	助産師外来	産婦健診	
		町田美穂				

《診療開始時間・受付終了時間》

午前：9:00～11:00 午後：2:00～4:00

◆体制は急に変更になることもあります、事前にお問い合わせ下さい。

外科外来体制表

○2019年6月1日から外来体制が変更になります。

	月	火	水	木	金	土
午前	比嘉 聡 仲地広美智 (永田 仁)	小野 武 加藤航司	川上浩司 永田 仁	川上浩司 加藤航司	有銘一郎 比嘉 聡	交代
午後	屋良敏男	有銘一郎	屋良敏男	有銘一郎	屋良敏男	

《診療開始時間・受付終了時間》

午前：9:00～12:00 午後：2:00～4:00

※診察順番は予約患者様が優先となります。

全国調査にご協力ください!

友の会会員 組合員のみなさん!



これからの子どもの医療・子育てを真剣に国に考えてもらうため
みなさんの生活の実情を
しっかり分析します

アンケート実施期間
2019年6月1日～30日

300名様に
Quoカード
500円分進呈

対象は3歳から中学3年生までの
お子さんがおられるご家庭です

スマートフォンで
回答します

かんたんです!
このアプリから
回答いただけます



「社会小児科学の視点からみた子どもの貧困解決」調査研究チーム

調査統括責任者 武内一(佛教大学社会福祉学部、耳原鳳クリニック)

共同研究者 佐藤洋一(生協こども診療所)、山口英里(千鳥橋病院)、和田浩(健和会病院)

共同研究 全日本民主医療機関連合会小児医療委員会/調査協力(沖縄協同病院)



ソーミナーは声も姿も愛らしいが、最近ではカラスが増えた。数年前から畑でも家でも頻繁にカラスを見かけるようになった。カラスの鳴き声を聞くと母は反射的に「イクトゥカタリ」(良いことがありますように)と唱えていたが、日常になった今ではその呪文も聞かなくなった。それにしても何故南部にカラスが増えたのか。高江の森林が伐採されたり、辺野古の工事がうるさくて逃げてきたのか。原因は専門家の調査を望むが、同じ人災である「戦争発言」の南下だけはい止めなければ...

ハルサー 金城 稲子

ハルサー
だより®

ソーミナー(メジロ)

今年もソーミナー(メジロ)の子育ての季節が来た。5/10、愛鳥週間だが、ちょうどその頃に巣を作る。去年はハウスの外のレイシの木に営巣していたが、今年はマンゴーの木を選んだ。ハウスの内なので風雨や外敵から守られて、イイアンバーで子育てに励んでいる。ハルサーをしていると野菜だけでなく、生き物の成長過程も側で感じられて退屈することはない。

子どもの頃、ソーミナーは一番身近な野鳥で、鳥好きな人は捕獲して育てていた。ねらうのはタカブキー(きれいな声で鳴く)するソーミナーだ。鳴き声を真似て誘いたし、竹の先に付けたヤンムチ(鳥もち)で捕獲するのである。そして自分で作った竹の鳥かごに入れて声の訓練に励んでいた。今は捕獲も飼育も禁止や制限があるが、庭でタカブキーを聴くと目を閉じて聞き入ってしまう。

メジロの名は目の回りが白く縁どられていることに由来する。「目白押し」は集団で木に止まるときに押し合いへし合いすることからきたようだ。